

5.13

第9回日本心筋症研究会で 発表しました

医学科5年 玉置 智隆

大阪で開催された第9回日本心筋症研究会における一般口演にて、「FFPE 心筋生検検体に対する Smart-3SEQ 法の適用」という内容で発表しました。心筋生検検体は FFPE 処理することで長期保管が可能となりますが、その過程での RNA の劣化と組織量が微量であることから、従来の方法ではトランスクリプトーム解析が困難でした。この微量 FFPE 心筋生検検体を Smart-3SEQ 法という手法で解析が可能であるかを検証しました。このことは循環器疾患のオミックス解析の発展に重要な知見と考えられます。ご指導いただきました循環器内科の斎藤能彦先生、尾上健児先生、中野知哉先生に厚く御礼申し上げます。



5.19

研究結果を論文に出版しました

医学科6年 喜多 真由

私は、3年生の時から分子病理学教室で研究を行ってきました。今回、その成果を筆頭著者英文論文として発表することが出来ました。"Role of creatine shuttle in colorectal cancer cells" というタイトルで、Oncotarget (2023 May 19; 14: 485-501, 2023) に掲載されました。この研究で、私はミトコンドリア・クレアチンキナーゼと細胞質内のクレアチンキナーゼ B がミトコンドリア内の酸化リン酸化で生成された ATP をリン酸化クレアチンの形で細胞質へ移送し、エネルギーとして増殖などに使用するとともに、増殖因子などのシグナル伝達経路におけるリン酸化に供与されていることを明らかにしました。これらの結果から、クレアチンシャトルはがん治療の新たな標的となることが期待されます。研究をご指導いただいた分子病理学教室の國安弘基教授に厚くお礼を申し上げます。



5.26

千里ライフサイエンスセミナーを 開催しました

未来基礎医学 准教授 森 英一郎

「千里ライフサイエンスセミナー V1」で「相分離がもたらす医療・創薬の新展開」と題して、吉村成弘先生（京都大学）と共に、森（未来基礎医学）がコーディネーターを務めました。演者には、齋尾智英先生（徳島大学）・渡邊千穂先生（広島大学）・浅川和秀先生（国立遺伝学研究所）・塩見美喜子先生（東京大学）・野田展生先生（北海道大学）・佐伯泰先生（東京大学）を招き、相分離に関する最先端の研究成果について活発な議論が行われました。



セミナーで講演する森准教授

5.31

白衣授与式を開催しました

看護学科1年生 85名を対象に白衣授与式を執り行いました。

1年生を代表して総代の平野さんが白衣を授与され、演習や実習に臨むことへの意気込みを話されました。

白衣授与後、川上看護学科長と田中看護教育部長から激励のお言葉があり、白衣を身にまとうことの意味を理解し、本学でしっかりと看護について学んでほしいとメッセージを送られました。

学生は凛然とした姿で授与式に参加しており、これから白衣を着用して学んだことを社会に出て実践する様子が想像でき、学生の将来が楽しみになりました。



白衣を授与される様子

意気込みを話す総代